



Dear Zoo

著者: Rod Campbell
出版社: Little Simon

この絵本、奥付を見ると、初版が1982年。ということは、英語圏の国々では35年以上読みつがれているロングセラー！ いかにも子どもが好きそうな絵本で、それも動物園もの……といっても、動物園に遊びに行く絵本ではありません。タイトルは、ごらんの通り、*Dear Zoo*。最初のページには、“I wrote to the zoo to send me a pet.”とあります。そう、子どもが動物園に手紙を書いて、動物園から次々にいろんなペット(?)が届く、という絵本なのです。

全部で8匹(頭?)の動物が送られてきます。どの箱やかごにも“FROM THE ZOO”という札がついています……が、いくつかの箱には、注意書きがそえられています。最初の黄色の箱には“VERY HEAVY!”

表紙に“A Lift-the-Flap Book”とありますが、これは仕掛け絵本で、本を開くと、右ページに箱の絵があって、それを開くと、その下に動物の絵が描かれています。“VERY HEAVY!”と書かれている黄色い箱の中からは

ゾウが出てきて、その下には“He was too big!” “I sent him back.”とあります。“DANGER!”と書かれている赤い箱からはライオンが出てきて、“He was too fierce!” “I sent him back.”

この繰り返し楽しい。送られてきた動物を送り返す理由ですが、too big, too tallあたりはわかるとして、too fierce, too grumpy, too scary, too naughty, too jumpyあたりはどうでしょう。tooのあとの形容詞、小学生にはちょっと難しいものもありますが、最後の“He was perfect!”のperfectを入れても、全部で8個。すぐに覚えられると思います。とくに、grumpy, naughtyなどは覚えて楽しい単語です。

そうそう、この絵本では8匹(頭?)の動物が出てくるのですが、どんな動物なのかは絵で描かれていて、名前には出てきません。ついでに英語で覚えてしましましょう。

*Dear Zoo*というタイトル、どう訳すか、みんなで話し合うのも楽しいかもしれません。

金原瑞人
かねはら・みずひと

岡山県生まれ。翻訳家、法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後、同大学院修了。訳書は児童書、一般書、ノンフィクションなど500点以上。日本にヤングアダルト(YA)というジャンルを紹介。中学校英語教科書『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(光村図書)の編集委員を務める。